

平成 29 年度 第 1・2・3 回 合同番組審議会 議事録

1 開催年月日

平成 29 年 9 月 13 日 (火) 午前 10 時 30 分～午後 0 時ごろ

2 開催場所

砺波市太郎丸 2-129 北日本新聞社砺波支社 会議室

3 委員の出席

委員総数 5 名

出席委員数 5 名

出席委員の氏名 (◎委員長)

- ◎ 飯田 敏雄 (88 歳、男、前砺波市文化協会会長)
- 西森 昭治 (44 歳、男、元砺波商工会議所青年部会長)
- 小幡 豊 (68 歳、男、砺波市文化会館館長)
- 河合 要子 (51 歳、女、KO・RA・RE 代表)
- 石村 修子 (38 歳、女、千華園勤務、グリーンアドバイザー)

放送事業者側出席者名

- 古井 裕人 (株式会社エフエムとなみ 業務部長)
- 高信 静枝 (株式会社エフエムとなみ 放送課長)

4 協議事項

1. 放送番組に対する評価

《対象番組》

- ・ 砺波むかしさんぽ「金谷石について」
- ・ 本との出会い「フロッグとトード」(原作の英語と日本語訳での朗読)
- ・ 砺波市総合防災訓練特別番組

2. アドバイス

3. その他

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

5 議事の概要

委員長の挨拶に続き、協議へ。3つの番組に対する感想やご意見をいただいた。
また、その後は、朗読番組や災害対応などについて意見交換を行った。

6 審議内容（各委員の発言を要約して箇条書きで記載）

【小幡副委員長】

・「砺波むかしさんぽ」について

普段気づかない郷土の歴史について紹介しているのはよかった。

「金谷石」についてはもう少し掘り下げて紹介してもよかったのではないかと。

郷土の歴史を誇りに感じてもらえるように伝えてほしい。こういった話題の場合は、あえてゆっくり話したらいいのではないかと。

・「本との出会い」について

人気のある絵本で、教科書でも取り上げられているが、また違った視点から紹介されていてよかった。

もう少し詳しい通訳があってもよかったのではないかと。

・「砺波市総合防災訓練」

シェイクアウト訓練について紹介されていたが、防災訓練の日だけでなく、定期的にラジオ上の訓練放送をしてはどうか。聴いている人に危機意識を持ってもらえるのではないかと。

【河合委員】

・「砺波むかしさんぽ」について

近くにいながら知らなかったことを、分かりやすく解説してくれてよかった。

3人の掛け合いが絶妙だった。声が重なることなく、聴きやすかった。

歴史文化を軽いテンポで紹介するのもよいのではないかと。

・「本との出会い」について

面白い取り組みだが、英語が聞き取れないとそこで止まってしまう感じがした。

配役を増やした方がわかりやすかったのではないかと。（フログ、トード、ナレーションと少なくとも3名）

物語全体ではなく、部分的に取り上げて、英語と日本語で紹介するような形もよいのではないかと。

誰もが知っている昔ばなしを英語で聴かせるのはどうか。

子どもを寝かしつけるときに聴かせるような番組も考えてみてほしい。

・「砺波市総合防災訓練」

シェイクアウト訓練がどんなものなのか詳しく紹介してくれてよかった。

防災情報は繰り返し伝えることが大切だと思う。

実際の放送を聴いて防災訓練会場に出かけてみたが、参加住民が少なかった。日ごろから

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

もっと防災について意識しなといけないと感じた。

【西森委員】

- ・「砺波むかしさんぽ」について
知識が深く、聴きやすかった。
若い世代には楽しくて郷土のことも知れて良いが、世代によっては、くだけ過ぎと聴こえるのではないか。
- ・「本との出会い」について
英語と日本語という構成が面白かった。
英語の朗読者がとにかくうまい。
番組の構成で、朗読の合間にフリートークがあり、出演者の人柄がわかってよかった。
この絵本を題材にしたミュージカルが砺波市文化会館で上演されたが、連携をとって広く知ってもらうことに繋がれば良いのではないか。
- ・「砺波市総合防災訓練」
砺波市との連携を確認する訓練になってよかったのではないか。
いざというときに活用できるように準備してほしい。

【石村委員】

- ・「砺波むかしさんぽ」について
軽いテンポのトークが楽しかったが、くだけすぎていないかとも思った。
- ・「本との出会い」について
英語の勉強にもなり、トーク番組とは違ったよさがあった。
英語の朗読がうまくて、英語が身近に感じた。
絵本を知ったうえで、ミュージカルを観るのもいいのではないか。
- ・「砺波市総合防災訓練」
割込み放送のデモンストレーションがあったが、ラジオ向けであれば、もう少しそれを意識した語り掛けでもよかったのではないか。

【飯田委員長】

- ・「砺波むかしさんぽ」
「金谷石」の歴史について紹介されていたが、故郷の歴史、故郷の良さを知ることが、故郷を愛することにつながる。
これからのメディアは、「故郷を愛するとはどういうことか」についても考えなければいけないのではないか。
- ・「本との出会い」について
ラジオを子どもが聴くきっかけにならないか。
英語であればフレーズを短くしたり、日常に使える表現があるものを選ぶなど、子どもに聴かせるしぐみを考えてほしい。

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

- ・「砺波市総合防災訓練」について

集中豪雨等、いつどこで災害が起きるか分からない。防災訓練は続けていくことが大事。
ラジオでどういう対応ができるか、改めて考えてほしい。

【古井部長】

- ・災害時割り込み放送の概要と、砺波市との折衝状況を説明。
割り込み放送の仕組みを確立し、市民への意識づけをしていきたい。災害時の生活支援情報提供を確立させる方策を今後も検討していきたい。

- 7 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日
平成 29 年 9 月 14 日付北日本新聞朝刊に記事を掲載した。FM となみの HP 上でも公開。

以上

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------